

平成23年度

販売委託業務に係る企画提案書（様式）

東北森林管理局 販売課

平成 年 月 日

東北森林管理局長 殿

会社等名

代表者氏名

印

住 所

電話番号

FAX番号

E-mail

平成23年度 東北森林管理局販売委託業務の企画提案書について

平成23年3月 日付けで公告のあった「平成23年度 東北森林管理局産物販売委託業務」について、公告及び企画競争説明書の内容を承諾の上、販売委託業務の受託を希望するので、企画競争説明書に基づき企画提案書を提出します。

担当：

I 基本事項

氏名又は名称		〒
代表者氏名		
住 所		
電 話 F A X		
各 市 場	市場の名称	〒
	住 所	
	電 話 F A X	
	市場の名称	
	住 所	
	電 話 F A X	
	市場の名称	〒
	住 所	
電 話 F A X		
市場の名称	〒	
住 所		
電 話 F A X		
添付書類		<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の場合は、定款又は寄附行為及び登記簿の写しを添付。 ・ 事業の沿革及び現況が分かる資料（会社概要等）を任意様式で添付。 ・ 最近の事業年度に係る貸借対照表及び損益計算書を添付。

注)「各市場」欄は、市場が複数ある場合に市場別に記入。

II 企画の提案（市場名： ）
 市場が複数ある場合は、受託を希望する市場別に記載すること。

様式 1：販売業務受託の取引先

項 目	受託	国有林材受託可能量
国有林材・民有林材の販売をいずれも受託可能		樹種 A m ³
国有林材の販売のみ受託可能		B m ³
		C m ³

注 1 該当する項目の「受託」欄に○を付ける。

注 2 「国有林材受託可能量」欄は、国有林材の年間受託可能量を主要樹種別に記載。

様式 2：業務の実施体制

(1) 市場の職員総数： 人

(2) 受託材の販売を担当する職員の業務経歴等

職員	担 当 業 務 内 容	従 事 年 数
A		年 月～ 年 月 年 ケ月
B		年 月～ 年 月 年 ケ月
C		年 月～ 年 月 年 ケ月
D		年 月～ 年 月 年 ケ月
E		年 月～ 年 月 年 ケ月
F		年 月～ 年 月 年 ケ月
G		年 月～ 年 月 年 ケ月

注 1 平成 23 年度の体制を記載。

注 2 職員の氏名は記入不要。

様式 3 : 販売委託に係る桧積料・手数料

項 目		料 金	備 考
桧積料	市 場	全ての樹材種同一料金	円
		樹材種毎	円
			円
	山 元	全ての樹材種同一料金	円
		樹材種毎	円
			円
手数料	市 場	全ての樹材種同一料金	%
		樹材種毎	%
			%
	山 元	全ての樹材種同一料金	%
		樹材種毎	%
			%

注 1 桧積料はm³当たりの金額、手数料は販売金額総額に対する%を記載。

注 2 桧積料、手数料が樹材種別に異なる場合は「樹材種毎」欄に樹材種を記載し、それぞれの桧積料、手数料を記載。

注 3 自動選別機の使用料が桧積料、手数料に含まれる場合は、備考欄に記載。

注 4 平成 2 3 年度の桧積料、手数料を記載。

様式 4 : 自動選別機の設置等

(1) 自動選別機の設置の有無

項 目	設置台数	処 理 能 力
自動選別機	台	m ³ /日・台

注 1 設置している場合は台数及び処理能力を記載（未設置の場合は記載不要）。

注 2 当年度中に設置予定がある場合は、その旨を欄外に記載。

(2) 自動選別機の利用料

項 目	利 用 料	備 考
利用料を徴収している	m ³ 当たり 円	
利用料を徴収していない		

注 1 利用料を徴収していない場合は「備考」欄に○を付ける。

注 2 利用料が積積料、手数料に含まれる場合は「備考」欄に記載。

注 3 平成 23 年度の利用料を記載。

様式 5 : 委託材の引渡地点等

(1) 引渡地点

項 目	引渡地点	備 考
山元土場・市場土場いずれも可能		
山元土場のみ可能		
市場土場のみ可能		
	山元土場を今後検討	

注 平成 23 年度に該当する項目の「引渡地点」に○を付ける。

(2) 高品質材の取扱い

区 分	項 目	可 否	備 考
高品質材 の取扱い	高品質材の受け入れが可能		
	高品質材の受け入れを今後検討		
	可能な場合の樹材種等		

注1 受け入れ可能な場合は可能樹材種、可能数量、買い方への周知方法、販売方法等について具体的に記載。

注2 平成23年度の受け入れについて記載。

様式6：事務処理

項 目	可否	備 考
指定様式をパソコンで作成及びメールで送受信が可能		
指定様式をパソコンで作成及び電子ファイルで提出可能		
指定様式を手書き作成、提出は郵送又はFAX送信のみ		

注1 該当する項目の「可否」欄に○を付ける。

注2 平成23年度の状況について記載。

注3 メールで送受信が可能な場合は下の余白へメールアドレスを記載。

メールアドレス	
---------	--

様式 7 : 特色等

(1) 取扱い樹材種・径級等

樹 種 名	材 種 等		
	一 般 材	短 尺 材	
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm
	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm	m ~ m cm ~ cm

注 1 樹種欄は受託可能な樹種を記載。

注 2 材種欄は樹種欄に記載した樹種の受託可能な長級 (m)、径級 (cm) をそれぞれ記載。

注 3 平成 23 年度の受け入れ可能な樹材種について記載。

(2) 集客力

項 目	組 合 員 数	備 考
買方組合の所属人数	名	

注 買方組合がない場合は前年度の「総入札者数」又は「せり売り参加者数」を年間市売回数で除した人数を「組合員数」欄に記載。

(3) 集客地域

項 目	全 国	隣接県を含む	同一県内のみ
主な顧客の範囲			

注 該当欄に○をつける。

(4) 市売り開催

項 目	年間市売り回数	月平均回数	年間特市回数
市売り開催			

注1 「年間特市回数」欄は特別市、記念市、国有林材フェア一等、特別な名称を付して開催を予定している市日回数を記載。

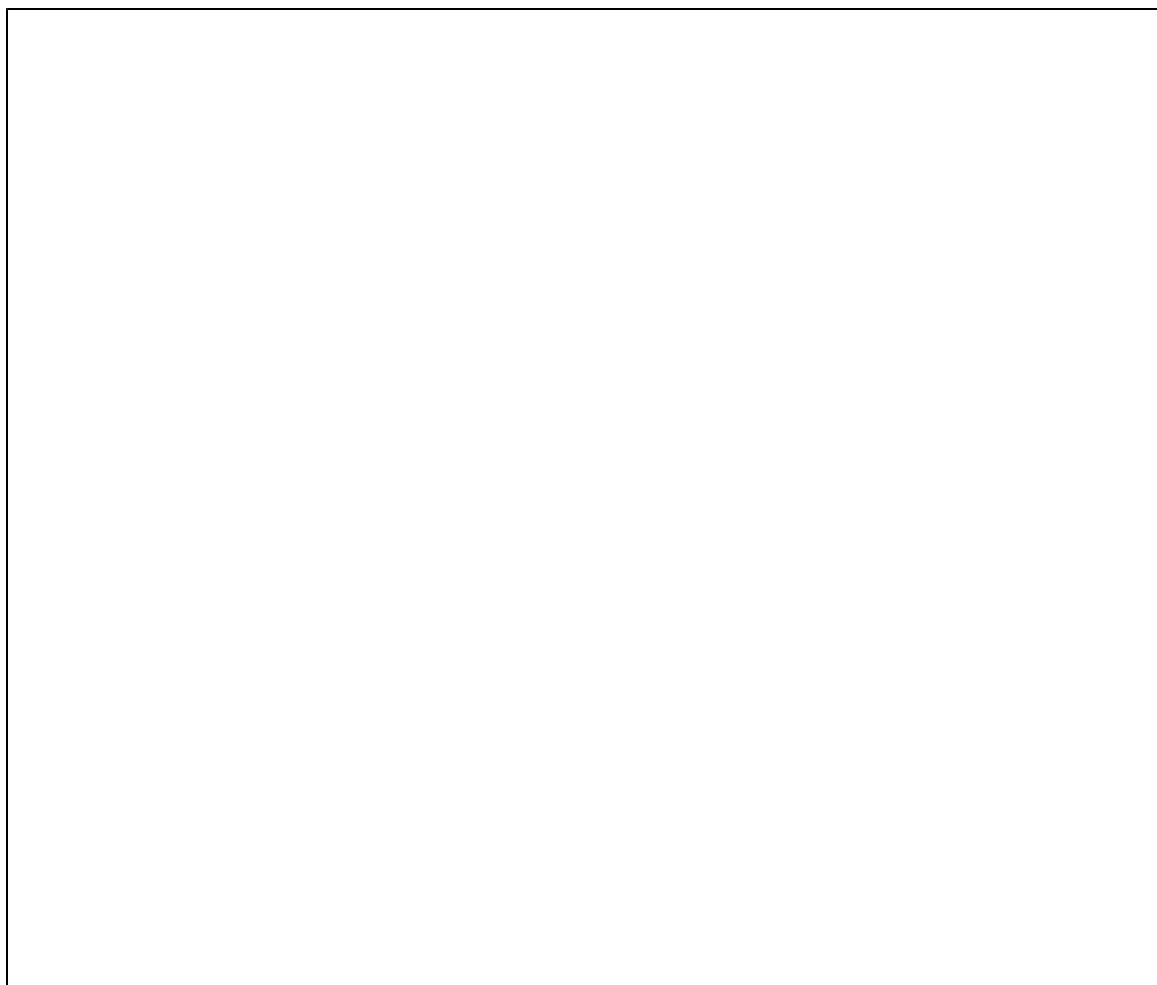
注2 平成23年度の開催予定について記載。

(5) 原木・製品市場の併設について

項 目	併設している	併設していない
原木・製品市場等の併設状況		

注 該当欄に○をつける。

(6) 新たな取組みの検討等



注 他の市場と比較しての有利販売の取組、新たな販路や顧客確保の取組、今年度新たに取り組む事項（自動選別機の設置、市日の増等）等を記載。

様式 8 : 販売実績

(1) 国有林材の販売数量及び販売額実績

年度	樹種名	販売数量 (m ³)	販売額(千円)	単価 (円/m ³)
	合計			

注 前年度の国有林材の販売数量（小数点以下は四捨五入）、販売額（税込み、千円未満四捨五入）及び販売単価を記載。

(2) 特筆すべき高値販売実績の有無（民有林材・国有林材別）

--

注 前年度に販売した樹材種ごとに最も高値で販売した実績を記載。（樹材種、数量、m³ 当たり価格を記載）

様式 9 : その他特筆すべき事項

(1) 特筆事項

--

注 様式 1～様式 8 に記載した以外に特筆すべき事項があれば具体的に記載（全銘展等の実施予定、地域への貢献事例等）

(2) 過去 2 ヶ年の表彰

--

注 過去 2 ヶ年に受けた表彰（国有林関係以外を含む。）について記載。